

# 鳴門市ふるさと納税 寄附金充当事業報告

このたびは、鳴門市に心のこもったご寄附を賜りまして、誠にありがとうございました。皆様からいただいた寄附金を活用して、実施した事業をご報告いたします。

なお、令和3年度事業として活用させていただいた寄附金の残額につきましては、鳴門市ふるさと活性化基金に積み立て、今後活用させていただく予定です。引き続き鳴門市に、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

鳴門市長 泉 理彦

## ● フレイル予防推進事業

### ②社会福祉及び高齢者福祉の向上に関する事業

栄養状態や筋肉の状態を科学的に分析するため、体成分分析装置を導入し、フレイルの兆候が見られた方へ専門職によるアドバイスを行ったほか、いきいきサロンにおいて測定時の補助を担うフレイルサポーター(市民ボランティア)を25名養成するなどフレイル予防に関する取組を実施しました。



## ● 視覚(屈折)検査機器導入事業

### ①子育て支援及び青少年健全育成等の次世代育成支援

視覚の屈折異常を検査するスポットビジョンスクリーナーを購入し、3歳児健康診査の受診者全員にスクリーニング検査を開始しました。

令和3年10月の開始以降、屈折検査の導入により視覚検査の精度が高まり、遠視や乱視の兆候が見られた児童について、眼鏡による矯正につなげることができました。

将来、弱視の原因となる屈折異常の早期発見、早期治療につながっています。

## ● 道の駅「くるくる なると」整備事業

- ⑧地場産業の育成及び企業誘致・就業機会の充実等に関する事業
- ⑨地域ブランド及び地産地消の推進に関する事業
- ⑩観光・交流の推進に関する事業

交流人口拡大や地域経済の活性化、オリジナル商品の開発を通じた地域ブランド力の向上、社会的効果の創出など、「地方創生、観光の加速拠点」としての役割を十分に果たす、道の駅「くるくる なると」を整備しました。

令和4年4月29日の開駅以降、多くの地域住民・観光客の方にご利用いただいております。今後は四国や西日本を代表する道の駅を目指し、取り組んでまいります。





## ● 地域バス車両購入

### ⑭市へ一任

鳴門市地域バスでは車両の故障に伴い、新しく14人乗りの車両を購入しました。本車両が運行する里浦粟津運動公園線は、通学での利用も多いことから、子どもから大人まで人気のある「ししゃもねこ」のキャラクターを車体にラッピングしました。

### ● 運行本数：

里浦 平日1日15便／土日祝1日10便

高島 平日のみ 1日1便

### ● 令和3年度利用人数：

3,958人(うち小人利用人数1,173人)



## ● 消防団安全装備品整備事業

## ● 消防団救助能力向上資機材緊急整備事業

### ④防災・防犯対策及び救急・消防等の充実強化に関する事業

消防団員の救助用半長靴を236足、雨衣を226着、また、救助活動時に使用する救命ボートを市内に30艇配備しました。

これにより消防団員が安全に活動できるようになり、大型台風や局地的な集中豪雨による洪水浸水対策を強化することができました。



## ● 史跡等地域文化財保存活用事業

### ⑦文化・芸術活動の推進及び文化財の保護活用に関する事業

大代古墳に獣害防止柵を設置し、イノシシの掘り起こし被害を防止しました。

また、大谷秋尾谷遺跡の石室レプリカや指定文化財の現地説明板(3箇所)を製作し、地域の文化財についてより深く知ってもらえるよう案内を行っています。



## ● 鳥獣被害対策事業

### ⑭市へ一任

鳴門市では、サルによる農作物被害等が増加しており、これを低減するため、サル用大型捕獲檻を導入しました。

## ● ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業

### ⑦文化・芸術活動の推進及び文化財の保護活用に関する事業

ドイツ館1階ロビーに液晶モニターを設置しました。

第九アジア初演100周年イベントを振り返る映像等が常時上映できるようになったことで、来館者に「なるとの第九」と板東倅虜収容所の関わりを深く理解してもらい、鳴門市の文化を後世に継承する環境を整備することができました。